

全国学力学習状況調査

今日は3年生を対象として、全国学力学習状況調査が実施されました。今年は、国語、数学、英語の3教科が実施されました。問題を見ていると、今年も文章量の多さに驚かされました。欠席者が後日受験をする関係で、ここで問題を紹介することはできませんが、いずれ問題を紹介したいと思います。国語の問題で文章が多いのはある程度わかりますが、数学においてもたくさんの文章を読んで解くようになっていきます。

改めて今の時代が求める「学力」について気づかされます。「校長室から」でも以前から何度か述べましたが、一問一答のような問題は、ほとんどありません。問題の文章を読んで、条件をもとに判断したり、自分の考えを表現したりする問題が増えています。「暗記」重視ではなく、思考力、判断力、表現力や活用する力が求められています。

今日、テストが終わったある3年生と話をしたら、「問題を読むだけで、へとへとになりました」と言っていました。高校入試問題は、ここまで文章量は多くありませんが、読む力を養っていかねばいけなないと、改めて感じました。



☆ 期待の星が、続々とデビューしています！

本校教師の話で恐縮ですが、今年度赴任した教師の中には、初めて教壇に立つ教師が数名います。彼らと話をしていると、私も大変新鮮な気持ちになります。というのも、彼らから聞かれる言葉は「早く子ども達と一緒に授業をしたいです」「子ども達と授業するのが楽しみです」という前向きな言葉が多いからです。

彼らには3月末に初めて会いましたが、皆、「教師になりたかった」と目を輝かせて言っていました。「教師になって頑張りたい」という意欲に満ち満ちていました。

30数年前、私もそのように思い、教師になりました。今では忘れかけていた気持ちを思い出させてくれた言葉でした。

3 農園に3つの品種A、B、Cのいちごがある。孝さんと鈴さんは、3つの品種のいちごの重さを比べるために、A～Cのいちごをそれぞれ30個ずつ集め、1個ごとの重さのデータを図1のように箱ひげ図に表した。

下の会話文は、孝さんと鈴さんが、図1をもとに、「重いいちごの個数が多いのは、A～Cのどの品種といえるか」について、会話した内容の一部である。

孝さん：AとCは、箱ひげ図が同じ形だから、①範囲や四分位範囲などが異なるAとBを比べたいけど、どうやって比べたらいいかな。

鈴さん：基準となる重さを決めて、比べたらどうかな。例えば、基準を25gにすると25g以上の個数は、Bの方がAより多いといえるよ。図1から、個数の差が1個以上あるとわかるからね。

孝さん：基準を34gにしても、34g以上の個数は、ひげの長さの違いだけではわからないから、AとBのどちらが多いとはいえないなあ。

鈴さん：基準を30gにすると、30g以上の個数は、Aの方がBより多いといえるよ。

孝さん：②図1から、30g以上の個数は、Aが15個以上、Bが7個以下とわかるからだね。

鈴さん：箱ひげ図を見て基準を決めると、重いいちごの個数が多いのは、AとBのどちらであるか比べられるね。では、箱ひげ図が同じ形の③AとCのデータの分布の違いをヒストグラムで見てみようよ。

次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 下線部①について、Aのデータの範囲とAのデータの四分位範囲を求めよ。

(2) 下線部②は、次の2つの値と基準の30gを比較した結果からわかる。

Aのデータの⑧	Bのデータの⑨
---------	---------

⑧、⑨は、それぞれ次のア～カのいずれかである。⑧、⑨をそれぞれ1つずつ選び、記号をかけ。また、Aのデータの⑧とBのデータの⑨を数値で答えよ。

ア 最小値	イ 第1四分位数	ウ 中央値
エ 平均値	オ 第3四分位数	カ 最大値

令和5年度公立高校入試問題：数学の一部です。会話文を読んだ後、問題を解きます。ここでも読解力が必要とされています。

彼らの初授業をいくつか見ましたが、丁寧に準備をし、一生懸命、子ども達と一緒に勉強する姿はとてもよいものでした。

まだまだ経験は浅く、学ばなければいけないことはたくさんありますが、彼らには「**向上心**」があります。きっとこれから教師として成長してくれると信じています。

彼らにとって、デビューは最終目標ではありません。生徒と共に、たくさん勉強して、たくさん活動をして、若い力で太宰府西中学校を盛り上げてほしいと思います。

